



学校だより 第23号

平成23年12月22日(木)

発行者：新宿区立

新宿西戸山中学校

夏休み減らない宿題減る休み(2A・YKさん)
楽しき日花火の如く消えるかな(2B・MKさん)
宿題が終わらずセミと僕も泣く(2C・SSさん)
甲子園勝負を分けたあの一球(1A・KSさん)
きれいだな夜を彩る夏の花(1B・SYさん)
夏祭りみんなの顔に笑顔咲く(1C・IMさん)
雨上がりキラキラ光る春の花(1D・SYさん)
この夏は節電しよう忘れずに(1E・SKさん)



上掲句は、
1・2年の国語
科の授業で行っ
た「教室句会」
において、互選
によって選ばれ
た各クラスの特
選の作品です。

前号でも、「第10回新宿区小・中学生俳句コンクール」(東京新宿ロータリークラブ主催。新宿区教育委員会後援)の入選作品を紹介しましたが、こうして並べてみると、「現代の中学生たち、なかなかやるではないか」と俳聖松尾芭蕉や正岡子規たちが草葉の陰で微笑んでいるのではと思えるほどの出来栄です。

大人になると、「季語」や「切れ字」がどうの、注意六条、禁忌八条だのと、知識ばかりが先に立って、ものを無心に見つめること、心の奥底から湧き出る感を正直に吐露することができなくなっています。見習わなければならないのは、私たち大人のほうかもしれせん。

俳句の中に、「童句」というジャンルがあります。土家由岐雄(1904-1999)が提唱したもので、「童心に帰って詠む俳句」ということだそうです。この年末年始、中学生を見習って、私たちも子供時代に帰って心を開放し、無心に、無邪気に俳句を楽しんでみてはどうでしょうか。そして、子供と一緒に「〇〇家壬辰新年句会」を開いてはいかがでしょうか。きっと笑顔があふれる、幸せな年始めとなること請け合いです。

※〇〇家句会の作品を、遠慮なさらず是非お寄せください。今から楽しみにお待ちしております。

新しい年が、皆さまにとりまして実り多く、幸せで豊かな年となりますことを心からご祈念申し上げます。

新宿西戸山中学校教職員一同

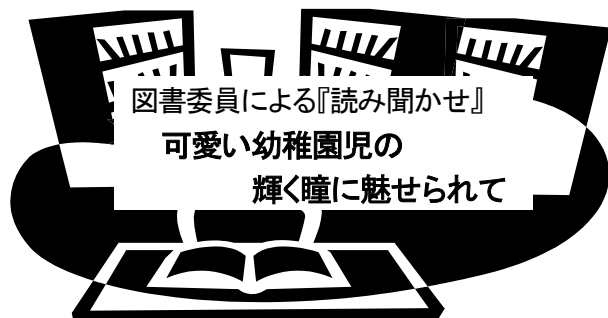
4月に開校した本校でしたが、皆さまのご理解とご協力により、子供たちは大きな成果を上げ、着実に成長することができました。心から感謝申し上げます。

来年もさらに充実した教育活動を行ってまいりますので、今年に勝るご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

【1月の行事予定】(再掲)

- 1/01 元日
- 1/09 成人の日
- 1/10 始業式 確認テスト(国語、数学、英語)
- 1/12 第3学年席書会
- 1/13 第1学年席書会
- 1/16 全校朝会 避難訓練 各種委員会
PTA運営委員会
- 1/17-19 第2学年職場体験
- 1/18 第3学年私立高校推薦入試出願
- 1/20 第2学年スキー移動教室保護者会 英検
- 1/21(土) 第1回ミニコンサート(吹奏楽部ほか)
- 1/22(日) 第3学年私立高校推薦入試
- 1/23-27 学校公開週間(終日自由に参観いただけます)
- 1/24 第3学年都立高校推薦入試出願
- 1/25 安全指導 第3学年私立一般入試出願
- 1/26 第2学年席書会
- 1/27 第3学年都立高校推薦入学検査





去る16日(金)の昼休み、西戸山幼稚園の可愛い園児たちが本校を訪ねて来てくれました。これは、本校の図書委員会が企画し、招待した「クリスマス読み聞かせ会」に出席するためです。和室に通された幼稚園児は、みな行儀よく畳に座り、期待に瞳を輝かせています。図書委員会では、夏休みに学区内の4つの小学校を訪問し、読み聞かせの会を開いて、好評を博してきました。その後も、福祉施設等での出前読み聞かせの会を開き、多くの方々に喜んでいただきました。今回は、招待ということで、1年生の委員が、練習を十分に積み、会の進行も工夫して、準備万端整えて迎えた催しでした。始まるまでは、皆、一様に緊張し、果たして幼稚園児たちに喜んでもらえるかどうか不安そうな顔でしたが、始まってしまえば、練習の成果を発揮し、幼稚園児たちの目をくぎ付けにしていました。最後には、委員たちで作った手作りの菓子をプレゼントし、達成感を味わって会を終えることができました。幼稚園児の代表の子たちからは、「楽しかった」という感想を異口同音にもらい、委員の顔も思わずほころんでいました。



☆出演生徒(図書委員)

1A: HTさん、KJさん

1B: SKさん、NTさん

1C: KHさん、OAさん

1D: ISさん、HYさん

1E: SDさん、SSさん

司会: 2B MNさん

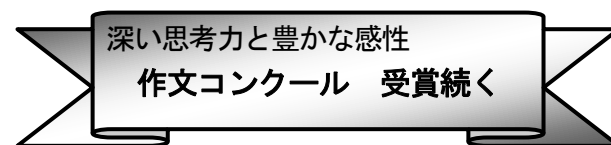
☆演目

[大型絵本] 『まどから・おくりもの』

『ちびゴリラのちびちび』

『すてきな三人組』

[紙芝居] 『ジャックとまめのき』



○東京都中学生人権作文コンテスト

新宿区人権擁護委員会の代表者が本校にお越しくださり、「中学生人権作文コンテスト」で入賞した3名の生徒を表彰して下さいました。代表して受賞した3A・SYさんは、「思いがけない受賞で、心から喜んでます。高校に進学しても人権の問題を真剣に考え、取り組んでいきます。」と受賞の喜びと決意を語ってくれました。

《作文委員会賞》

3A・SYさん「心の差別」

《優秀賞》

3B・MHさん「人と話せなくて」

2B・SMさん「原子力発電所で働く作業員」

○東京都読書感想文コンクール

夏休みの課題として取り組んだ読書感想文で、3名の生徒が入賞しました。

《東京都佳作、新宿区優秀賞》

2B・HMさん「遠回りをしても」(山崎直子著『夢をつなぐー山崎直子の4088日』)

《新宿区優良賞》

3A・SYさん「神様のカルテの主人公のように」(夏川草介著『神様のカルテ』)

2B・SRさん「ガンに生かされてを読んで」(飯島夏樹著『ガンに生かされて』)